一般社団法人まおいのはこ

設立趣意書

長沼町地域おこし協力隊の支援を目的とした本法人の設立に当たり、構成員および協力者を募り、また広く関係各位の理解を賜るため、設立の趣意をここに宣します。

記

1. 背景

地域おこし協力隊制度は国により平成 21 年から制度化されました。地方移住者の希望を乗せて始まったこの制度は、その一方で受入側の理解や体制が追い付かず、全国でコミュニケーションギャップを生むこととなりました。結果、失望とともに任地を後にした移住者も少なくありません。

長沼町においては平成 27 年からこの制度が開始されましたが、令和 5 年からより自由度の高い任用形態に改められたところです。こうした中、従前からのギャップを生じさせない受入態勢に加え、地域との関係性構築や起業経験に基づく事業化支援といった、新しい支援の在り方が求められています。

以上の背景から、今後は民間団体による支援が不可欠との認識に至り、その役割を担うべく本法人設立を企図しました。

2. 基本理念

本法人は、長沼町地域おこし協力隊およびその任期終了者とっての「箱」であると自己を規定します。その箱とは、以下の 2 つを意味します。

【巣箱】

現役の隊員と任期終了者が安心して活動し、力強く巣立ってゆくための支援を行います。

【砂箱】

安全な環境の中で様々なビジネスを試行できるサンドボックス：砂箱となり、隊員のアイデア実現や資金調達の支援を行います。

3. 具体的活動

【現役隊員サポート業務】

現役隊員の将来に向けた起業・経営知識の伝達、地元の経営者・人材の紹介のほか、町内の生活や勤務を円滑に行うための相談・助言を行います。

また、この業務を任期終了者に委託することにより、その経験や人脈を現役隊員に引き継ぐとともに、任期終了者の収入確保を通した定住・独立の後押しとなることも目的としています。

【ビジネス支援業務】

本法人が営業に必要な許認可を取得し、所属する現役隊員と任期終了者が法人の「看板」を利用することで、初期投資や手続きの負担を軽減し新しいビジネスに挑戦することを可能とします。

さらに、公益的な補助事業等を獲得する母体となり、その執行を通して将来の事業化につながる活動や先行投資を支援します。

4. 法人の構成員

運営会員　　現役隊員または終了者のうち、町内に居住し目的に賛同する個人
（一般社団法人及び一般財団法人に関する法律上の社員に相当）

賛助会員　　目的に賛同する個人又は団体

以上

令和 7 年 1 月 15 日

発起人代表　坂本　一志